

殺菌消毒剤

\*2014年11月改訂(第2版)  
1999年12月改訂

劇薬

日本薬局方

フェノール

Phenol

フェノール「東海」

(石炭酸)

500g



\*製造販売元

東海製薬株式会社

名古屋市 中川区 江松一丁目105

貯法：遮光した気密容器  
使用期限：ラベルに記載

日本標準商品分類番号	872619
承認番号	(61AM)1877
薬価収載	1986年3月
販売開始	1986年4月
再評価結果	1982年8月

【禁忌】(次の部位には使用しないこと)

損傷皮膚及び粘膜  
〔吸収され、中毒症状を起こすおそれがある。〕

【組成・性状】

1.組成

本剤はフェノール (C<sub>6</sub>H<sub>6</sub>O) 98.0%以上を含む。

2.性状

本剤は無色～わずかに赤色の結晶又は結晶性の塊で、特異なにおいがある。

【効能・効果】

(液剤)

手指・皮膚の消毒、医療機器の消毒、手術室・病室・家具・器具・物品などの消毒、排泄物の消毒

下記疾患の鎮痒

痒疹(小児ストロフルスを含む)、じん麻疹、虫さされ

(2～5%軟膏)

下記疾患の鎮痒

痒疹(小児ストロフルスを含む)、じん麻疹、虫さされ

【用法・用量】

1.手指・皮膚の消毒

フェノール1.5～2%溶液を用いる。

2.医療機器、手術室・病室・家具・器具・物品などの消毒

フェノール2～5%溶液を用いる。

3.排泄物の消毒

フェノール3～5%溶液を用いる。

4.痒疹(小児ストロフルスを含む)、じん麻疹、虫さされの鎮痒

フェノール1～2%溶液、または2～5%軟膏として用いる。

製造番号

使用期限

【使用上の注意】

1.相互作用

併用禁忌(併用しないこと)

薬剤名等	機序・危険因子
カンフル製剤(カンフル精)	潰瘍形成の報告がある

2.重要な基本的注意

- 原液または濃厚液が皮膚に付着した場合には腐食及び吸収され、中毒症状を起こすことがあるので、直ちに拭き取りエタノールまたは多量の水でよく洗い流すこと。
- 眼に入らないように注意すること。入った場合には水でよく洗い流すこと。
- 本剤は必ず希釈し濃度に注意して使用すること。
- 炎症または易刺激性の部位に使用する場合には、濃度に注意して正常の部位に使用するよりも低濃度とすることが望ましい。

3.副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

種類/頻度	頻度不明
過敏症 <sup>※</sup>	発疹等

注)このような症状があらわれた場合には使用を中止すること。

4.適用上の注意

人体

- 投与経路：外用にのみ使用すること。
- 使用時
  - 密封包帯、ギプス包帯、バックに使用すると刺激症状及び吸収され、中毒症状があらわれるおそれがあるため、使用しないこと。
  - 長期間または広範囲に使用しないこと。  
〔吸収され、中毒症状を起こすおそれがある。〕

【取扱い上の注意】

- 金属器具を長時間浸漬する必要がある場合は、腐食を防止するために0.5～1.0%の亜硝酸ナトリウムを添加すること。
- 合成ゴム製品、合成樹脂製品、光学器具、鏡器具、塗装カテーテル等には変質するものがあるので、このような器具は長時間浸漬しないこと。
- 誤飲を避けるため、保管及び取扱いには十分注意すること。



GS1

(調剤用)

GS1

(販売用)



JAN

4